

提出
順番

No.
7

平成26年5月29日
午前・午後 5時00分

平成 26 年 5 月 29 日

幕別町議会議長 古 川 稔 様

幕別町議会議員 中 橋 友 子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1、建設労働者の賃金引上げと地元業者に仕事を。	政府の景気向上対策は一向に国民に届かず、それどころか4月からの消費税増税で暮らしや営業は厳しさを増しています。特に雇用不安の拡大は深刻で、不安定雇用の非正規労働者は労働者の3人に1人に、若者と女性では2人に1人まで広がり、年収200万円にも満たない労働者は1000万人を超えています。低収入は公的年金の未加入や国保税滞納につながり、将来の生活不安や命の問題にもなっています。解決のためには国の政策転換が必要ですが、町としても可能な対応を進めるべきと考えます。 1、建設労働者の賃金確保について 北海道では特に建設労働者の劣悪な条件が改善されず、技能労働者不足と高齢化を招き、資材価格の高騰や事業者の減少と合わせて、公共事業の入札不調や不落札の要因にもなっています。 昨年4月、国交省は公共工事設計労務単価を改定し17%引き上げました。さらに技能労働者不足解消等から、今年2月にさらに7.5%の引き上げが行われました。しかし道の建設工事下請け状況調査では賃金確保に反映されたのはわずか23.7%にしかすぎません。 引き上げ分が全額賃金に反映されるよう、業者に対する適切な指導と報告を求める事が必要です。そこで幕別町の現状、これまでの取り組み、今後の対応について伺います。また公契約条例制定の考えも伺います。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	2、地元業者優先と発注状況について ① 地域事業者を守り、経済の循環をはかるために、工事や物品購入、業務委託等の発注において、原則的に地元業者優先の考えで発注を進めていると考えます。しかし競争の激化や価格優先の中では地元につながらない結果も生まれてきます。 引き続き「地元でできることは地元で」の考えのもとに、適正な発注を進めるべきであり、地元業者への発注の現状と、地元優先の考え方について伺います。 ② 業者間の競争が激化する中で、実態のない「ペーパー事業者」も生まれ、町の仕事に係りだしていると聞いています。現状について伺います。 またそのような事態を招かないために、明確な基準（要綱）を作るべきと考えます。 3、小規模修繕登録事業の積極的活用を 町内の小規模事業者の受注を拡大し、就業機会の確保と町内経済の活性化を図ることを目的として開始された事業ですが、登録しても「全く仕事が来ない」「一度だけでした」という声が少なくありません。登録事業者に対してもれなく仕事が行き渡るよう、抜本的な改善と対策が必要です。これまでの業種別事業者登録数と発注状況、発注の体制、経済効果、今後の対策について伺います。